

書 名：枠を超えよ 自己肯定感なくして
主体性は生まれない

著 者：辻本昭彦

出版社：東洋館出版社

所 在：6F開架閲覧室

請求記号：370.4/Ts43

資料 I D：14169717

この本の著者は、中学校の理科教員を勤め上げ、現在は大学で教職課程の授業を担当し、素晴らしい教育を展開されている先生です。「自己肯定感」なくして「主体性」は生まれないという考えの下、「いいところ探しのワークショップ」や「OPPA」というポートフォリオを通して、豊かな学びを引き出しています。

その哲学には汎用性があり、音楽科教育にも活かせるようなことが満載です。ぜひ手に取って読んでいただきたい一冊です。

書 名：新 クラシック・コンサート制作の基礎知識
著 者：日本クラシック音楽事業協会(企画・制作)
出版社：ヤマハミュージックエンタテインメント
ホールディングス

所 在：7F開架閲覧室
請求記号：760.69/Sh64
資料 I D：14220496

音楽学部での学びを通して、「音楽の素晴らしさを伝える仕事」に興味を持った人も多いと思います。本書の執筆者はいずれも現場で活躍する業界トップの方たち。コンサート制作の世界を覗いてみたい人、将来の自分のキャリアを思い描いてみたい人にお勧めです。

コロナ禍、世界的な紛争、広報メディアの変化などに伴い、「舞台裏」は大きく様変わりしました。音楽関係の仕事に就きたい人は一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

書 名：1冊でわかるピアノのすべて
調律師が教える歴史と音とメカニズム
著 者：青山一郎
出版社：アルテスパブリッシング

所 在：7F開架閲覧室
請求記号：763.2/A58
資料 I D：14003479

だれもが知るピアノは、鍵盤を押せば音が出る身近な楽器でありながら、驚くほど奥の深い楽器です。本書では、ピアノの誕生と発展、構造と響きの仕組み、そして「ド・レ・ミ」の音の高さが時代によって変化してきた「音律」の世界まで、わかりやすく解説しています。

知って弾くのと知らずに弾くのとでは、音楽の感じ方が大きく変わります。演奏者にも聴衆にも、音楽指導を目指す方にも、新しい発見がある一冊です。